

欧州委員会、ジェネリック医薬品の参入を遅らせた Lundbeck 社等に制裁金

2013 年 6 月 20 日

JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州委員会競争総局は、6 月 19 日、デンマークの製薬企業 Lundbeck 社 (Lundbeck) が複数のジェネリック医薬企業と 2002 年に結んだ合意が、同社の抗うつ剤のジェネリック版の市場参入を遅らせるものであり、EU 運営条約 (TFEU) 第 101 条が禁ずる反競争的合意であったとして、Lundbeck 社に 9,380 万ユーロ、ジェネリック医薬企業に計 5,220 万ユーロの制裁金を科す決定を下した旨、プレスリリースを行った。

プレスリリースによると、Citalopram は Lundbeck 社の当時の最大の売り上げを誇った抗うつ剤である。基本特許の期間満了後は、関連する製法特許が残るだけであったため、ジェネリック医薬企業の市場参入が可能となっており、実際に一社がジェネリック医薬品の販売を開始し、数社が販売の準備をしていた。

しかし、Alpharma, Merck KGaA/Generics UK, Arrow 及び Ranbaxy のジェネリック医薬企業は、市場に参入しない見返りに相当額の金銭を受け取る等の合意を Lundbeck 社と結んでいたと認定された。

さらにプレスリリースは、本件の反競争的合意によって損害を受けた者は、EU 加盟国の裁判所において損害賠償を請求できるとしている。

欧州委員会は、2008 年 1 月から反トラストに係る製薬業界の特許和解の実態について調査を行っていたが、2009 年 7 月にまとめられた最終報告書で、新薬開発企業が、保有する特許を用いてジェネリック医薬企業の市場参入を遅くしたりブロックしたりするなど、問題のある和解合意が行われている結果、製薬業界において競争が阻害されていると指摘していた。その後、欧州委員会は、本件を含む計 4 件の事案について、競争法違反の調査を開始していた。

— 欧州委員会のプレスリリースは、以下参照 —

[Antitrust: Commission fines Lundbeck and other pharma companies for delaying market entry of generic medicines](#)

— 欧州委員会による製薬業界の調査状況については、欧州知的財産ニュースを参照 —

[欧州委員会、反トラストに係る製薬業界の調査状況について発表 \(2013 年 2 月 1 日\) \(PDF\)](#)

(以上)